



学校教育目標 「学び合い」 「個性」 「自立」

- | | |
|--|-----|
| (1) 生きるための基本的な生活習慣・学力を身につける生徒を育てます。 | 【知】 |
| (2) 自分のまわりの人とふれあい、お互いを大切にする心を育てます。 | 【徳】 |
| (3) 自他の生命を尊重し、健康でたくましい体を育てます。 | 【体】 |
| (4) 社会の一員として自覚をもち、自分の生き方を決められる生徒を育てます。 | 【公】 |
| (5) 体験を通して自分を豊かにし、社会の変化に柔軟に対応できる生徒を育てます。 | 【開】 |



菜の花の中へ大きな入り日かな

～ 夏目 漱石 ～

校長 星野 久美子

春一番が吹き、花の甘い香りを感じることが増えてきました。

なかなか横浜では味わうことの出来ない、見渡す限りの菜の花畑。まさに日が沈もうとする春の夕暮れです。大きなオレンジ色が一面の黄色いキャンパスに吸い込まれ、溶けていく様子を想像するとなんだか暖かい気持ちになります。

水もぬるみ春の気配が動き出す「雨水（うすい）」を過ぎましたが、まだまだ寒暖の差があります。

公立高校共通選抜 共通検査が終わり、3年生の中学校生活も残り少なくなってきました。卒業証書授与式は3月10日（金）に行われます。生徒にとって3年間の想いが詰まった思い出深い卒業式にしたいものです。学校は平成28年度のまとめの時期に入り、学校評価を参考にして年度末反省を行った後、来年度の計画作成に取り組んでいます。このとき意識する言葉に「不易流行」があります。芭蕉が俳句を作る理論の中で使った言葉ですが、不易とは「永遠に変わらない伝統や芸術の精神」であり、流行とは「新しみを求めて変化するもの」です。どちらも相反するよう見えますが、良い俳句を目指すときにこの二つは根本で結びついているという意味です。教育における「不易」が、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成であれば、時代に応じた教育の内容や方法が「流行」なのでしょう。多くの保護者の方が中学生時代を過ごされた80～90年代は、高度経済成長・長期的雇用関係の社会背景のもと、時代の進展に対応した教育内容を効率的に蓄え、引き出すことが求められました。グローバル社会の現在情報や知識を得ることは容易になりましたが、複雑な問題を解決し持続可能な社会を実現する時、一律の正解は存在しません。そのため、人々が当事者として知識や思考を持ち寄り、主体的に答えを作り出すことが求められます。

2月7日（火）、3年7組（江口級）で「尊厳死」についての道徳の授業が行われました。自力で生きることができなくなったカレンの生命維持装置をはずすかどうかという問題に対し、各グループで自分の視点を明らかにして考えを述べたり、他人の考えから違う視点に気づき、前の考えを見直す姿が見られました。「自ら考え、考えを表現し、他人と話し合っ問題解決する」「対話を積み重ねて考えを深める経験」を繰り返す中で、人はものの見方や考え方を獲得していきます。「三人寄れば文殊の知恵」とは、それぞれの人が自分とは違う視点に気づき、自分の考えを吟味したり考え直す過程で生みだされる知恵を指すのでしょうか。

<横浜市特別支援学級 合同学芸会> 1月27日(金) 西公会堂

合同学芸会のリハーサル、本番を迎える前、学校でダンスや組体操、ワールドオーダーの練習をたくさんしました。また、司会の練習もしました。演技の方では、最初自分にできるか、とっても不安な気持ちでした。でも、先生にダンスのDVDをもらって、家でたくさん練習をしました。もらったばかりの頃は、ゆっくりなペースでしか踊れませんでした。だんだん練習していくうちに早いペースでも踊れるようになりました。学校では、前の人を見ながら踊るということを意識しました。組体操は、小さなお城をやる時に、自分は上にもる役でした。あまりのるタイミングなどが分かりませんでした。ワールドオーダーでは、苦しみの演技が難しかったです。また、みんなでリズムをとるのも大変でした。司会の練習も、自分は開会式と横浜吉田中学校の所を担当しました。開会式の時に、「気をつけ、れい」というのかなど、分からない事がたくさんありました。

1月24日にリハーサルがありました。そこで、ダンスをしました。大きく踊る事があまりで来ていなかったと思ったので、本番ではそういう所を直していこうと思いました。

そして、1月27日に本番がありました。朝から緊張していました。田奈中の番になるまで、他の中学校の演技を見ていました。田奈中の番になって、ステージの外で待っているときに、「もう早く終わらないかな」と思いました。ステージで踊っているときに大勢の人がいたので、非常口のマークを見て踊りました。ワールドオーダーのダンスも組体操も、大きく演技することが出来ました。

頑張ったことは、ダンスを覚えたことです。理由は、難しいところがあって大変でした。学芸会で学んだことは、「最後まであきらめない」ということです。これからは、学芸会で学んだあきらめない気持ちを大切に、何事のも全力で取り組んでいきたいです。



3年 内山 恵



<1年百人一首大会> 1月26日(木) 5・6校時

1年百人一首大会が体育館で行われました。1学年では、初めてということもあり、授業の初めや終わりの時間を使って練習を重ねてきました。直前になると、昼休みも練習が始まり…。当日は、相手より1枚でも多く…と、気合い充分。顔を上気させながら、楽しそうに取り組む姿が印象的でした。

1位(定家賞)を5組、2位(紫式部賞)を7組、3位(蝉丸賞)を9組が獲得しました。残念ながら入賞を逃したクラスは、とても悔しそうで、来年こそは!の気持ちも高まったようです。

3月1日(水)3日(金)は、道場を会場に、二人一組で対戦する個人戦が行われます。すでにエントリーは締め切られていますが、各学年30組を超えるペアがエントリーをしています。どんな熱い戦いが繰り広げられるか、楽しみです。



<2年国際理解教室・学年道徳> 2月8日(水) 5・6校時

2年生の学年道徳として、国際理解教室を開催しました。今回は、公益社団法人「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 東京本部 海外事業部」の方を講師にお招きしました。講師の方は、難民支援に携わっており、ウガンダの事例を中心に、世界の子どもの状況と実際の支援活動について話をうかがうことができました。発展途上国の暮らしについて知ることで、国際協力への参加意識や関心をもつことができました。そして、今自分にできることや、今後大切にしたいことについて考えるきっかけにもなりました。

～生徒の振り返りから(一部抜粋)～

- ・同じ年齢でも、どうしてこんなに違うのだろうと思いました。私たちは幸せなのだと改めて実感できました。
- ・難民の方だったとしても一人の人間として幸せになる権利はあると思います。自分たちの仲間・同じ人間として考えて、差別などをなくす努力が必要だと思いました。
- ・私たちは当たり前のことに感謝の気持ちをもたなければいけないと思いました。
- ・自分には関係ないからと思うのではなく、今何ができるのか、どうすればよいのかを考えることが大切だと思います。
- ・恵まれた環境で暮らすことができている私たちは、勉強などを頑張らないと、勉強をしたくてもできない方々に申し訳ないので、努力する必要があると思いました。
- ・学校生活や部活動で悩むことができる毎日が、とても充実している気がしました。



1・2月の活動報告

【陸上競技部】

- 旭ズーラシア駅伝大会 1月28日
 男子（鈴木貴裕・鈴木大也・岩本侑大・赤平翔・小倉夕輝）
 1時間01分17秒 区外の部 第3位
 女子（吉原芙美奈・上床美幸・亀井礼・沼澤侑花・関谷衣旺莉）
 43分07秒 区外の部 第5位
- 第13回関東近県中学生新人駅伝競走大会 2月5日
 山梨県南アルプス市櫛形運動公園周回コース
 男子（富田翔・赤平翔・中村一太・井上詠祐太・鈴木大也・和田悠都） 15.58km
 50分55秒 県外学校対抗男子の部 第4位
- 神奈川県中学校 中長距離記録会 2月11日
 横浜市三ツ沢公園陸上競技場
- | | | | | |
|----|--------|-------|--------|-----|
| 男子 | 富田 翔 | 3000m | 9分16秒8 | 第6位 |
| 女子 | 岩永 渚沙 | 1500m | 5分06秒4 | 第8位 |
| | 吉原 芙美奈 | 1500m | 5分06秒7 | 第9位 |
| | 田橋 柚希乃 | 800m | 2分29秒6 | 第8位 |

吹奏楽部 木管弦楽八重奏東関東大会金賞受賞！

サクソフォン八重奏本選出場

1月29日（日）茨城県の結城市民文化センターでおこなわれた東関東アンサンブルコンテストでは、木管弦楽八重奏が金賞を受賞しました。審査員の先生方から「緊張と安らぎのコントラストの幅のあるアンサンブルです。非常に美しい弱奏で聴いていて鳥肌がたちました！フレージングも大変美しく、音が次にどこに向かうかが、良く伝わる素晴らしい演奏でした！」と講評をいただき、東関東アンサンブルコンテスト4位の結果を残しました。

また、日本サクソフォン協会主催のアンサンブル・コンクールでは、サクソフォン八重奏が「とても豊かな響きで美しい音色、丁寧でまとまりのあるアンサンブルです。」と講評をいただき、1次審査を通過し、3月11日（土）もみじホール城山でおこなわれる本選に出場する事となりました。

♪木管弦楽八重奏♪

F1 中島 巨平
 C1 1 小林 昇正
 C1 2 森永 明日香
 B.C1 上田 莉子
 A.Sax. 京野 晴
 T.Sax. 植木 里花
 B.Sax. 福田 美咲
 St..B. 鈴木 穂乃

♪Sax.. 八重奏♪

S.Sax. & A.Sax. 1 南川 紗輝
 A.Sax. 2 杉森 春香
 A.Sax. 3 京野 晴
 A.Sax. 4 原 奏音
 T.Sax. 1 植木 里花
 T.Sax. 2 浦田 美春
 B.Sax. 1 福田 美咲
 B.Sax. 2 関 亜由菜

<新年書き初め大会>

横浜市総合文化祭書き初め展が、1月18日～22日、市民ギャラリーで、緑区中学校書き初め展が1月25日～30日 緑図書館ギャラリーで開催されました。本校からは、3年川西 麻里さんの作品が横浜市の書き初め展に、1年伊藤 麻帆さん、2年清水 結依さん、3年大森 つぐみさんの作品が緑区の書き初め展に出品されました。新春にふさわしい堂々とした文字が現在職員室前に掲示されています。



体育館に紅白幕を掛けるのに便利なフックを寄贈していただきました！

長津田自治連合会と長津田地区社会福祉協議会の皆様から紅白幕をワンタッチで掛けられるフックを寄贈していただきました。感謝申し上げます。



壁一面に丈夫なフックがつかまりました！

【3月のカウンセリングの予定】

- ☆日時：3月 3日（金）・10日（金）
 17日（金）・24日（金）
 ・相談時間は、通常9時～17時です。
 ☆場所：田奈中学校 保健室並びの
 カウンセリングルーム
 ☆連絡先：カウンセラー専用直通電話
 045（981）8461